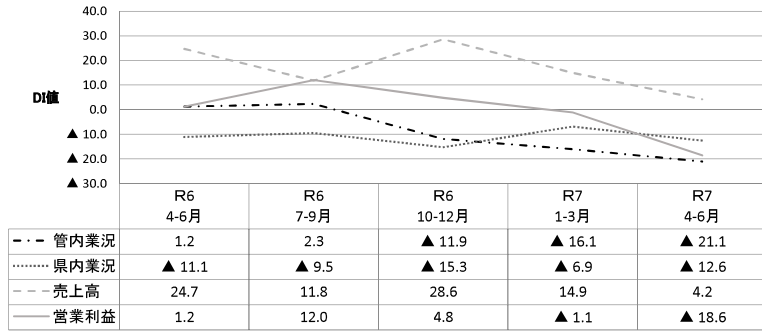


景気判断指数 DI 値の推移



飲食・旅館業とサービス業で売上高DI値がプラスを示す。業況感DI値はともに横ばい。原材料や資材価格の高騰、人手不足、消費低迷が共通課題。

※全業種のDI値は次の通りである。カッコ内は前回DI値(令和7年1月～3月)  
 □業況感DI値 ▲21.1(▲16.1) □売上高DI値 4.2(14.9) □営業利益DI値 ▲18.6(▲1.1)

今回の調査では、売上高DI値が飲食・旅館業で30.8、サービス業で11.1とプラスを示し、業況感DI値はともに0.0と横ばいの結果となった。飲食・旅館業ではインバウンド需要の恩恵が要因の一つとして売上高DI値の増加に繋がっている。

営業利益DI値をみると全体で▲18.6を示し、業種別にみると製造業▲11.1、建設業▲66.7、卸売・小売業▲15.4、飲食・旅館業▲25.0、サービス業0.0を示した。原材料や資材価格の高騰、人手不足、消費低迷が共通課題となっている。

業種別の業況感DIは次の通り ※カッコ内は(今期)(今後の見通し)  
 全体(▲21.1)(▲14.5) 製造業(▲22.2)(▲33.3) 建設業(▲66.7)(▲37.5)  
 卸売・小売業(▲38.5)(0.0) 飲食・旅館業(0.0)(▲7.7) サービス業(0.0)(0.0)

\*DI値(景気判断指数) = (増加・好転等の回答割合) - (減少・悪化等の回答割合)

景況 天気図 の見方					
	① 好調・好転・増加	② やや 好調・好転・増加	③ 横ばい	④ やや 不振・悪化・減少	⑤ 不振・悪化・減少

- ① 増加50%以上、DI値20%以上
- ② DI値10%～20%
- ③ 不変50%以上、DI値±10%
- ④ DI値-10%～-20%
- ⑤ 減少50%以上、DI値-20%以上

業種	売上高		資金繰り		従業員数		パートの採用		営業利益		業況		設備投資	
	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	今期実施	今後 計画予定
全 体	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	38.0%	47.9%
製 造 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	38.9%	55.6%
建 設 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	44.4%	44.4%
小売・卸売業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	30.8%	46.2%
飲食・旅館業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	38.5%	53.8%
サービス業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	38.9%	38.9%

\*この調査は、三島地区の中小企業の景況を定期的に把握し、各事業所の参考にさせていただいたためのものです。  
 左表にある項目について、「前年同期との比較」及び「今後3ヶ月の見通し」について調査し→で表しました。  
 調査対象167事業所 回答71事業所(回収率 42.5%)